

|      |           |           |             |        |      |
|------|-----------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名  | 英語 A (総合) |           |             | 授業形態   |      |
| 担当教員 | 中川 典子     | 開講期・曜日・時限 | 後期 金曜日 3 時限 |        |      |
|      |           | 単位数       | 2           | 履修開始年次 | 1 年生 |

### 主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指す。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成する。共通教材については、パソコンを使いながら自宅でオンラインで練習を行う。

また、個別教材を使って、シンプルな英語で「書いたり」「話したり」できる力と日常生活に関連した英文素材を「読んだり」「聴いたり」できる力を養うために、文法力と語彙力を強化するための訓練を行う。  
本コースの主題は、「外国語の習得と、それを通じてグローバルな視点から、海外の社会や文化について学ぶことを目的とする」という本学グローバル科目の趣旨に沿うものであり、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーに貢献するものである。

### 到達目標

共通教材: 基本語彙と文法事項の確認と定着を目指す。

個別教材:

- (1) 教科書の自テーマに沿った語彙を習得できる。
- (2) 高校までに学習した英語の基本文法を習得できる。
- (3) 教科書の各ユニットのテーマに基づいた会話演習をクラスメートとペアでできること。
- (4) 教科書の各ユニットのテーマに基づいた簡単な英文を書くことができるようになる。

上記の到達目標は「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーの達成に役立つ。

### 提出課題

Moodleの演習問題に取り組む。教科書の演習問題、等の課題を毎回、授業の前後に課すので、期限までに提出する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

共通教材: 毎週の小テスト問題について授業内で解説する。

個別教材: 毎週の授業の準備のために、課題に取り組む。また、授業後に出された課題に取り組み、提出する。課題の内容については授業で解説をする。

### 評価の基準

- (1) 出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点 (50%)
- (2) 共通教材期末テスト (25%)
- (3) 定期試験 (25%)

\*コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。また、授業中の態度が著しく悪い、教科書を持って来ないなどの行為が見られた場合は、大幅な減点となるので留意すること。教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可とする。

### 履修にあたっての注意・助言他

- (1) 授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力すること。
- (2) 前掲のように、コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。
- (3) 特別に認められる理由以外の1.5分以上の遅刻は欠席となる。コースの3分の1にあたる5回以上の授業を欠席すると定期試験の受験資格を失い単位を取得できなくなる。3回の遅刻で欠席1回となる。
- (4) 教科書は当然、購入しているという前提で授業を実施する。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。
- (5) 課題は必ずWord形式で提出すること。スマホからの写真や小テストでの裏写りは受理しない。
- (6) 毎週、授業開始直後の約10分を使ってMoodleクイズを実施するので遅刻しないこと。Moodle以外のクイズを課すことがある。欠席した場合の追試は実施しない。
- (7) 教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可とする。

\*提出課題を含むすべての連絡事項はRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて行うので、必ず確認すること。

### 教科書

|                        |   |           |       |              |
|------------------------|---|-----------|-------|--------------|
| .Let's Make It Simple. | Kazuko Morita, Junko Takahashi, Hiroko Kitamoto | Sanshusha | 1,980 | 978438433482 |
|------------------------|---|-----------|-------|--------------|

### 参考図書

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

### その他

テキストの内容に関連したワークシート等、適宜、配布する。

### 授業計画

|                                     |                             |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1 Moodle共通教材 ガイダンス                  | Unit 1 My Family            |
| 2 Moodle共通教材 Set 1                  | Unit 2 Our Campus           |
| 3 Moodle共通教材 Set 2 /Moodle Quiz1    | Unit 3 Jobs and Work Places |
| 4 Moodle共通教材 Set 3 /Moodle Quiz2    | Unit 4 Everyday Activities  |
| 5 Moodle共通教材 Set 4 /Moodle Quiz3    | Unit 5 Transportation       |
| 6 Moodle共通教材 Set 5 /Moodle Quiz4    | Unit 6 Part-time Jobs       |
| 7 Moodle共通教材 Set 6 /Moodle Quiz5    | Unit 7 Health and Illness   |
| 8 Moodle共通教材 Set 7 /Moodle Quiz6    | Unit 8 Shopping             |
| 9 Moodle共通教材 Set 8 /Moodle Quiz7    | Unit 9 Leisure              |
| 10 Moodle共通教材 Set 9 /Moodle Quiz8   | Unit 10 College Life        |
| 11 Moodle共通教材 Set 10 /Moodle Quiz9  | Unit 11 Countries           |
| 12 Moodle共通教材 Set 11 /Moodle Quiz10 | Unit 12 Taking a Trip (1)   |
| 13 Moodle共通教材 Set 12 /Moodle Quiz11 | Unit 13 Taking a Trip (2)   |
| 14 Moodle Quiz12                    | Course Review               |
| 15 Moodle共通教材期末テスト                  |                             |

\*授業の進捗度により、内容を調整する可能性がある。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

|                                      |                       |  |
|--------------------------------------|-----------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習）                       | <input type="radio"/> | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート                     | <input type="radio"/> | エ：グループワーク                                  |
| オ：プレゼンテーション                          | <input type="radio"/> | カ：実習、フィールドワーク                              |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） |                       |  |

授業内容に応じて、上記を適宜採用する。

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材:

(予習) 次の授業で解説されるセット問題をRyukaポータル上のMoodleにアクセスして解く。  
(復習) 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ（小テスト）に向けてそのセット問題を復習する。（合わせて2時間程度）

個別教材: (予習) 毎週の授業およびクイズの準備（1時間）

(復習) その日に学習した内容の復習（授業で学習した基本英文法、語彙の見直しと音読、リスニングセクションの聴解）（1時間）

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につながる。これらの能力は専学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS(Learning Management System)であるMoodleをコール教室、および（または）、授業外の自主学習に利用している。授業に関する質問は随時受け付け、授業中あるいはキャンパスクロスを通じて回答する。受講生からの提出物を添削し、フィードバックを行う。授業でペアワーク等、実践的な授業を実施する。

### 実務経験の有無及び活用

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |

### 備考

教科書を購入しなければ課題を提出できないので、履修登録後、すみやかに購入手続きをすること。前掲のように、教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。授業に関する連絡事項は必ずキャンパスクロスを通じて行う。